

2026(令和8)年度

募集要項

---

大学院歯学研究科

---

博士課程 入学試験

---

## 鶴見大学大学院歯学研究科教育方針

### アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

歯学研究科博士課程では、感謝と慈愛の心を持つとともに、高度にして専門的な歯科医学の深奥を究めた、歯科医学研究における指導力を発揮できる研究者を養成することを目標としています。そのために以下のような人を歓迎します。

1. 自然科学に強い好奇心を持ち、高度な専門知識を習得することが可能な基礎学力を持つ人。
2. 国内外を問わず他者との議論を交わし、かつ協力できるコミュニケーション力を持つ人。
3. 既成概念にとらわれることなく自ら新しい分野を開拓できる、積極的かつ柔軟な思考を持つ人。

### カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

歯学研究科博士課程では、高度な専門研究及び専門諸分野の科学的成果に立脚する学際的総合研究を行うために必要な創造的能力を有し、研究者として自立して研究活動を行い、将来高度かつ専門的な業務に従事するために必要な高度な研究遂行能力とその基礎となる豊かな学識を有する人材を養成するために、以下の教育課程を編成し、実施しています。

#### 1. 専門教育

優れた研究能力等を備え、高度な専門性を必要とする臨床歯科医の業務に必要な診断・検査技術、治療法、態度を修得するための科目を専攻別に策定し、研究活動に必要な基礎知識、技能知識を習得するための科目として歯学特論を配置している。また、歯科医学研究分野において、研究者として自立し指導的役割を担うに十分な能力を身につけるために、専攻分野別に必修科目及び選択科目を配置している。

#### 2. 研究指導

研究者として自立するためには、研究課題の設定、研究計画の立案、研究の実施・遂行及び研究成果の発表を必要とする。そのため、独創性と先端性に優れた高度な研究実施能力、研究の妥当性に対する判断力、発表能力等を育成する。そのためにマンツーマンの先進的並びに質の高い研究指導を行う。

### ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

歯学研究科博士課程では、禅の精神を基に自他を正しく認識し、感謝と慈愛の心を持つとともに、高度にして専門的な歯科医学の深奥を究め、その応用によって医療を通じて社会に貢献できる有能な研究者に対して学位を授与します。所定の単位数を修め、教育理念と目的に沿った研究指導を受け、修業年限内に博士論文の審査及び最終試験に合格し、大学院歯学研究科委員会で可とされた場合において、博士（歯学）を授与します。

1. 所定の単位数を履修することにより、専門的な知識を習得することに加えて、科学的手法を用いて行った研究結果を適切に考察することによりまとめた論文を提出し、審査に合格した者に学位取得を認める。
2. 研究経過報告を行い、学位論文には研究の独創性・発展性、論文構成・論理展開の妥当性、研究倫理の自覚と遵守のそれぞれの点について、十分な水準に達することが求められる。
3. 歯科医学分野において研究者として自立でき、また指導的役割を担いうる能力を身につけていることが課程修了に必要なものである。

### ※入学試験に関する個人情報の取扱いについて

本学研究科では、入学試験志願票に記載いただいた本人氏名・連絡先及び保証人氏名・連絡先等に関する情報、また、成績等の個人情報は厳重に取扱い、入学者選抜以外の目的に無断で使用することはありません。

# 歯学研究科の概要

## 1. 目的

本研究科は、本学の建学の精神を体して、学部における教育の基礎の上に高度な歯科医学研究を教授し独創的な研究を推進するための研究者並びに、全人的医療に貢献する歯科医療人を養成するとともに、本学の教育、研究、診療をになう教育者を育成することを目的として、1977(昭和52)年4月に開設されました。

なお、2010(平成22)年度より地域社会のニーズに応え、歯科医師として医業に従事する者にも大学院修了の道を開くべく、大学院設置基準第14条に定める教育法の特例を導入し、昼夜開講制を実施しています。

## 2. 修業年限

博士課程 標準修業年限 4年

## 3. 教育方法並びに課程修了の要件および学位授与

- (1) 通常の授業時間帯は、第1時限～第4時限(9:00～16:10)を中心としますが、昼夜開講制による学生の夜間の授業時間帯は、第5時限～第6時限(17:00～20:20)を中心とします。  
また、土・日曜日、夏季休暇期間等を利用しての集中講義など、受講の利便性に配慮した授業計画を策定します。
- (2) 本研究科に4年以上在学し、30単位以上を修得し、さらに必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査に合格し、かつ、最終試験に合格しなければなりません。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとします。
- (3) 上記所定の課程を修了した者には、「博士(歯学)」の学位を授与します。

#### 4. 専攻学科目、責任教員および主な研究内容（2025年度）

専攻名	学 科 目	責任教員	主な研究内容
歯 学 専 攻	解剖学		今年度募集停止
	生理学	教 授 奥村 敏	歯周病マウスモデルを作成して歯周病と全身性疾患、特に循環器疾患の発症過程を分子レベルで解明する。 咬合異常マウスモデルを作成して咬合異常と全身性疾患、特に循環器疾患の発症過程を分子レベルで解明する。 咬筋の肥大ならびに委縮のメカニズムを細胞レベルならびに個体レベルで解明する。
	分子生化学	教 授 山越康雄	ヒト臍帯血管周囲細胞を用いた再生医療法の開発 歯科麻酔薬を用いたドラッグリポジショニング研究 歯根膜再生型インプラントの開発 エナメル質形成の誘導因子とシグナル伝達機構 歯周組織再生誘導因子とそのシグナル伝達機構 硬組織の分化誘導因子とそのシグナル伝達機構
	病理学	教 授 松本直行	唾液腺の機能、病態形成の機序ならびに再生機構の解明 自己免疫疾患の病因解析と治療法の開発 抗加齢医学の確立 EBウイルス再活性化の分子機構の解明 細胞老化現象に着目した疾患成立機序の解明 唾液を検体としたサリバリーダイアグノスティクスの確立
	口腔微生物学	教 授 大島朋子	疾患と口腔微生物叢の関係の解明（国立研究開発法人医薬基盤研との共同研究） プロバイオティクスによる口腔疾患予防法の確立に関する研究（大阪大学・神戸大学との共同研究） 全身疾患・ストレスの唾液バイオマーカーの探索（東京医大との共同研究） 口腔常在真菌 <i>Candida</i> の疫学的・分子生物学的研究（シンガポール国立大学との共同研究） 新規感染予防法の開発と評価（大阪大学との共同研究）
	薬理学	教 授 二藤 彰	硬組織形成のエピジェネティック制御機構 骨・軟骨の細胞分化・決定機構 網羅的解析法を用いた硬組織形成に関与する遺伝子の同定とその機能解析 腱・靭帯の発生・維持機構 歯根膜細胞の発生分化制御機構 破骨細胞の分化制御機構
	歯科理工学	准教授 野本理恵	歯科用インプラント材料の表面改質 硬組織再建材料の開発 再生医療のための足場材料の開発 補綴物・修復物に対する非破壊検査法の応用 歯質に対する接着 充填用材料の物理的・力学的性質の研究
	保存修復学	教 授 山本雄嗣	レジン接着システムの基礎・臨床的研究 MIに基づく歯冠修復法の基礎・臨床的研究 歯の変色・漂白に関する基礎・臨床的研究 接着性歯冠修復材料のバイオメカニクス 歯の再石灰化にむけた無機材料の開発 抗菌性バイオセラミックスの評価

専攻名	学 科 目	責任教員	主な研究内容
歯 学 専 攻	歯内療法学	教 授 山崎泰志	歯髄疾患および根尖性歯周組織疾患の発生に関する分子生物学的研究 MTA の抗炎症作用に関する研究 歯髄ならびに象牙質の再生に関する研究 手術用実体顕微鏡と歯科用エックス線 CT を用いた根尖外科処置に関する研究 再植歯、外傷歯における臨床的研究 各種歯科用レーザーによる歯内治療に関する基礎的・臨床的研究 Ni-Ti ロータリーファイルを用いた根管治療の効率化に関する研究
	歯周病学	教 授 長野孝俊	歯周組織再生治療における 3D プリンターや生体材料の応用 サイトカインや未分化間葉系細胞を用いた歯周組織再生治療 歯周薬物療法（歯周抗菌療法）の基礎的および臨床的研究 ナノプラチナや酸化チタンの歯周病治療への応用 各種歯科用レーザーや光線力学療法による歯周病治療に関する基礎的および臨床的検討 ペリオドンタルメディスン（歯周病が全身の健康に与える影響）に関する研究
	口腔リハビリテーション 補綴学	教 授 大久保力廣	有床義歯難症例に対する新術式の考案と臨床評価 CAD/CAM デンチャーの製作法と新規素材の開発 インプラントデンチャーの設計と臨床評価 各種支台装置の適合性、支持・把持効果と維持力 マグネットアタッチメントの吸引力と安全性 インプラントの表面加工とインテグレーションの獲得 オーラルフレイルのリハビリテーション
	クラウンブリッジ補綴学	教 授 小川 匠	口腔内スキャナー等の光学印象の開発と臨床応用 多元計算解剖学的手法を用いた CAD/CAM 技術の開発 AI 技術を用いた顎口腔機能・咬合学の理論と実践 磁気式 6 自由度顎運動測定器の開発と臨床応用 下顎運動ならびに咀嚼機能解析と評価と診断法の確立 最適な支台築造、インプラント、補綴装置を求めて 咀嚼嚥下機能の画像解析 触覚伝送を用いた歯科医療技術の定量化 各種歯科材料の摩耗に関する研究
	口腔顎顔面外科学	教 授 濱田良樹	口腔悪性腫瘍の診断・治療に関する研究 顎変形症の診断・治療に関する臨床的研究 顎関節疾患の病態解析と診断治療体系の確立 顎骨再建と口腔顎顔面インプラントに関する研究 口腔粘膜疾患の免疫学的研究
	口腔内科学	教 授 里村一人	5-ALA を利用した口腔癌早期診断装置の開発 人工知能（AI）による表在性口腔粘膜病変診断技術の確立と健康診断への導入 5-ALA を利用した新規液状化細胞診の開発 固形癌を対象とした新規光免疫療法の確立 天然物質を利用した新たな口腔感染症制御法の確立 レーザー光を利用した口腔感染症制御法の確立 抗酸化ストレス物質を利用した口腔粘膜疾患治療法の開発 Direct reprogramming による幹細胞の創製と新たな再生医療の確立 新規ガラス薄膜形成技術の医療・環境感染対策への応用 微量唾液を検体とするウイルス感染症の迅速診断技術の開発

専攻名	学 科 目	責任教員	主な研究内容
歯 学 専 攻	歯科矯正学	教 授 友成 博	不正咬合と口腔内細菌叢の関連 顎顔面形態と睡眠の質 矯正歯科治療による口腔機能の変化 矯正歯科治療による咀嚼筋の力学的性状の研究 新規矯正装置・材料の開発 顎顔面頭蓋硬組織代謝に関する研究 3D プリンターによる矯正装置の製作
	口腔顎顔面放射線・画像診断学	教 授 五十嵐千浪	口内法X線撮影に関する基礎的ならびに臨床的研究 歯科放射線防護、線量測定 パノラマX線撮影の基礎的ならびに臨床的研究 パノラマX線画像からの鑑別診断、顎関節症の予測 顎関節疾患の画像診断 顎関節症の画像診断と保存療法の効果と予後の予測 顎口腔領域の三次元的画像の基礎的ならびに臨床的研究 AI を用いた画像診断支援
	小児歯科学	教 授 朝田芳信	歯の形態形成に関与する遺伝子の特定 口腔疾病に対する分子遺伝学的アプローチ フッ素徐放性コート材による隣接面う蝕の進行抑制 エナメル質成熟過程のメカニズムに対する基礎的研究 小児の口腔機能に関する臨床研究 小窩裂溝充塞材によるう蝕予防の臨床研究
	歯科麻酔学	教 授 阿部佳子	抗不安薬と鎮静薬の中樞神経系作用発現機序の研究 広範囲侵害抑制性調節へのモノアミン神経系の関与の研究 うつ病モデルラットにおける疼痛変調の研究 体性感覚誘発電位を利用した三叉神経支配領域の感覚異常の研究 口唇部炎症誘発痛覚変調性疼痛モデル動物の痛覚過敏への治療法の確立
	口腔衛生学	教 授 後藤田宏也	齲蝕および歯周病の細菌の分析による疾病予防に関する研究 口腔疾患予防につながる自然由来物質の探索に関する研究 地域住民の健康状態の実態調査と地域保健の向上に関する研究
	法医歯学	准教授 勝村聖子	硬組織からの個人識別 画像解析による個体識別 ヒト DNA 多型の鑑定応用 死後画像診断による死因究明支援 医療事故の発生と防止

# 募集要項

## 歯学研究科(博士課程)

### 1. 出願資格

次の(1)～(4)のいずれかに該当する者

- (1) 大学(歯学または医学の学部)を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における18年の課程(最終課程は上記(1)の課程)を修了した者および本学大学院入学の前年度に修了見込みの者
- (3) 文部科学大臣の指定した者
- (4) その他本大学院において、大学(歯学または医学の学部)を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

上記(4)に該当する者とは以下の様な者を指します(例)。

- ア) 修業年限6年の教育課程の大学を卒業した者および本大学院入学の前年度に卒業見込みの者
- イ) 修士課程を修了した者および本大学院入学の前年度に修了見込みの者
- ウ) 修業年限4年の教育課程の大学を卒業した者で、2年以上の研究歴があり、本大学院歯学研究科による審査を受け、修士に相当すると認められた者

○その他の資格で出願を希望する場合は、鶴見大学入試センターにお問い合わせください。

[注] 歯科医師・医師免許証の有無にかかわらず、歯科臨床系大学院を専攻することができます。

### 2. 募集人員

歯科基礎系・歯科臨床系 18名(1次募集・2次募集の合計)

### 3. 専攻学科目

#### 【歯科基礎系】

解剖学、生理学、分子生化学、病理学、口腔微生物学、薬理学、歯科理工学、口腔衛生学、法医歯学

#### 【歯科臨床系】

保存修復学、歯内療法学、歯周病学、有床義歯補綴学、クラウンブリッジ補綴学、  
口腔顎顔面外科学、口腔内科学、歯科矯正学、口腔顎顔面放射線・画像診断学、  
小児歯科学、歯科麻酔学

#### 4. 出願期間・試験日・試験場

期	出願期間	選考日	試験場
1次募集	2025年8月1日(金)～ 8月20日(水)17時出願登録締切 出願書類：8月22日(金)願書受付センター必着	2025年9月4日(木)	鶴見大学
2次募集	2026年1月13日(火)～ 2月2日(月)17時出願登録締切 出願書類：2月4日(水)願書受付センター必着	2026年2月12日(木)	

出願済みの受験生が新型コロナウイルス感染症等に罹患し、やむを得ず受験ができない場合は試験当日9:00までに入試センターへご連絡ください。

受験機会確保の観点から、追試および振替受験の対応について相談に応じます。

追試および振替受験をする場合は、医療関係等による罹患の証明書が必要になります。(後日提出可)

ただし、日程の都合により一部対応できかねる入試もございます。

◎出願に際しては、必ず志望する講座・研究室の責任教員に予め照会のうえ、出願してください。

#### 5. 出願書類

入学志願者は下記の書類を全て揃え、[インターネット出願](#)登録後に願書受付センターへ簡易書留・速達で郵送してください。入試センター窓口では書類の受領はできませんのでご注意ください。

出願に不備がないことが確認できましたら、出願を受理し、インターネット出願サイトより受験票のダウンロード・印刷が可能となります。

- (1) [履歴書](#) (本研究科所定の用紙)
- (2) 出身大学の成績証明書
- (3) 出身大学の卒業証明書 (卒業見込者は卒業見込証明書)
- (4) 歯科臨床系学科目を志望する者は、臨床研修修了登録証〔写〕 (臨床研修修了見込者は臨床研修歯科医修了見込証明書\*)

※出願後に研修を修了した者は、速やかに臨床研修修了登録証〔写〕を提出してください。

※出願時に臨床研修歯科医修了見込証明書の提出ができない場合は、出願前にご相談ください。

#### 6. 入学検定料

35,000 円

\*いったん受理した出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。

#### 7. 試験科目・試験時間割

内 容	時 間
受 付	9:30～9:45
出欠調査・問題配付	9:45～10:00
外国語科目 (英語)	10:00～12:00
出欠調査・問題配付	13:00～13:15
専 攻 科 目	13:15～14:15
面 接	14:30～

## 受験についての注意

- (1)受験票は必ず持参してください。万一、受験票を紛失または忘れた場合は、入場の際に受付に申出てください。
- (2)試験場入場の際、受付において係員が受験票を確認しますので提示してください。
- (3)試験場は、受付開始時刻から入場できます。受験番号により案内しますので受験番号を確認しておいてください。  
出欠調査開始時刻までに、受験番号が貼付けられた指定の席に着席してください。
- (4)試験場内では試験監督者の指示に従ってください。
- (5)試験場内では、携帯電話等の電源を切ってカバンに収納してください。
- (6)筆記試験の解答には、鉛筆を使用してください。
- (7)筆記試験中机上に置けるものは、受験票・鉛筆・消しゴム・時計（時刻表示以外の機能を備えているものは使用禁止、アラームは消しておくこと）・辞書（電子辞書は不可）のみとし、これ以外の所持品は置かないでください。下敷きを持参しても使用できません。
- (8)上履きを用意する必要はありません。
- (9)試験終了まで試験場の外には出られません。
- (10)付添者は試験場に入場できません。

## 【重要】入試における不正行為の取扱いについて

鶴見大学では、真摯に受験に臨む受験生の皆さんが不利益を被ることがないように、不正行為者に対し、厳正な措置を執ります。

ついでに、入学者選抜試験における不正行為およびその取扱いを次のとおりとします。

なお、今回公表する内容は現時点のものであり、今後変更する可能性もありますので、本学からの発表にご注意願います。

(不正行為を行った場合の取扱いについて)

不正行為を行った場合は失格となり、当日の入学試験の全教科に加え、出願した本学の本年度入学試験のすべての教科の得点を無効とします。(大学入学共通テスト利用型についても全教科・科目の得点を無効とします。既に合格した本学の学試験がある場合は合格を取り消します。)

その場合、入学検定料は返還されません。

行った不正行為に関して、不正行為者の保護者および在籍(出身)大学に対して報告する場合があります。

なお、試験終了後に不正行為が発覚した場合であっても、同様に取扱いします。

(出願書類について)

出願の際に当学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為となることがあります。

(筆記試験について)

○不正行為となること

1.カンニング行為(試験科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、使用を許可されていない教科書、参考書、辞書等の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。

2.他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをしたりすること。

3.「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めたこと。

4.「解答やめ」の指示の後に、解答を続けること。

5.試験時間中に、使用を許可されていない物品(補助具や電子機器類など)を使用すること。

※携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末、ウェアラブル端末等の電子機器については、電源のON/OFFに関わらずかばんの外に出ていた時点で使用とみなします。

6.別の受験者になりすまして受験すること。

7.問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。

○不正行為となる場合があること

1.試験時間中に、使用を許可されていない書籍類・補助具・電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすること。

2.試験時間中に携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

3.試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。

4.問題冊子や解答用紙の見せ合い、話し合い、のぞき見等の疑いのある行為を行うこと。

5.試験時間中に、長い間机の下に手を入れたり、服のポケット等に手を入れたりすること。

6.試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。

7.試験場において、監督者の指示に従わないこと。

8.その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

(面接試験について)

○不正行為となること

- 1.面接試験中に他の人と連絡をとりあうこと。
- 2.面接試験の録画・録音、またはそれをSNS等のインターネット上へ掲載すること。
- 3.面接終了後に、これから面接をおこなう他の受験生に内容を伝えること。

○不正行為となることがあること

- 1.受験者控室または面接室前で無用な会話をすること。
- 2.受験者控室または面接室前で待ち時間に携帯電話等の通信機器を使用すること。
- 3.受験者控室または面接室前で係員の指示に従わないこと。
- 4.その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

## 8. 合格発表

1次募集 2025年 9月22日(月)

2次募集 2026年 2月27日(金)

受験生本人がインターネットにアクセスすることにより合否結果を知ることができます。(当日 10時00分より) 確認方法については下記をご覧ください。

注) 電話による合否結果並びにIDやパスワードについてのお問合せには応じません。

## 合否確認手順について

合格発表日時以降、受験生本人がスマートフォンおよびパソコンで「大学出願ネット」から合否確認ができます。

### ■ 確認手順

#### ① 大学出願ネットにログイン



#### ② 出願状況の確認ボタンをクリック



#### ③ 対象選抜制度の詳細ボタンをクリック



#### ④ ページ下部に表示されている合否結果を確認



※合格通知書についても「大学出願ネット」よりダウンロード可能です。

## 9. 入学手続

(1) 入学手続は、「入学手続システム」を使用します。合格された方は、各入試の手続期間内に「入学手続システム」にログインし、必要事項の入力・学納金の納入・入学手続書類一式の提出（郵送）を完了させてください。

一旦納入された入学金は、いかなる理由があっても返金できません。

〈入学手続システム URL〉 <https://tsurumi.campusconnect.jp/Sessions/login>



(2) 入学手続締切日

1次募集 2025年10月 6日 (月)

2次募集 2026年 3月 9日 (月)

- (3) 入学手続きにあたっては、在学契約として、入学予定者、連帯保証人連署による「在学誓約書」および「個人情報の取り扱いに関する同意書」を提出していただきます。

## 10. 長期履修制度について

### 制度の概要

この制度は、歯学研究科において、時間的な制約等がある人に対して負担軽減を図り、柔軟な学習機会を提供することを目的としており、学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士課程4年)を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを希望し申出たときは、審査のうえ長期履修を認めるものです。

詳細については入試センターにお問い合わせください。

## 11. 学納金等

2025年度の学納金(学生納付金等)は次のとおりです。合格者は「入学手続要項」により所定の手続きを行うとともに、下記の学納金等を入学手続締切日までに納入してください。

### 学生納付金

項目	納入金額	備考
入学金	300,000円	入学時のみ
授業料	700,000円	年額 (前期・後期の2回に分けて納入)※ただし年額一括納入も可
施設設備費	300,000円	入学時のみ (前期・後期の2回に分けて納入)※ただし年額一括納入も可
合計	1,300,000円	

下記の諸費を代理徴収します。

項目	納入金額	備考
学生総合保険料	3,000円	年額 ※変動の可能性があります。

### 入学手続時納入額

年額納入の場合	1,303,000円
前期分を納入の場合	803,000円

(1) 入学金・諸費以外は2回に分けて納入することができます。

(2) 本学卒業生は、施設設備費を全額免除します。

## 12. 奨学金制度

次の奨学金制度があります。

- (1) 本学奨学金・・・毎年度、若干名に対して大学独自の奨学金を給付します。(4年生対象)
- (2) 日本学生支援機構奨学金(貸与)
- (3) 森田奨学育英会(給付)(4年生対象)
- (4) その他の奨学金・・・地方自治体並びに民間育英事業団体等

## 本学試験会場案内図

※試験場の下見などのために  
校舎内に入ることにはできません。

### 【周辺のホテル】

- ① ホテルリブマックスBUDGET横浜鶴見
- ② 東横イン横浜鶴見駅東口
- ③ ベストウェスタン横浜
- ④ ホテルメッツ横浜鶴見
- ⑤ ホテルテトラ鶴見



- [交通] ●JR 京浜東北線「鶴見駅」西口より徒歩5分  
●京浜急行線「京急鶴見駅」西口より徒歩7分  
曹洞宗大本山總持寺境内入口…\*

本学ホームページでも、案内図をご覧ください。携帯電話・スマートフォンはこちらから→







### ※入学試験に関する個人情報の取扱いについて

出願にあたってお知らせいただいた氏名・住所その他の個人情報、および出身校からご提供いただいた書類に記載の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続、入学準備およびこれらに付随する業務（必要書類送付等）、並びに個人を特定しない形で入学試験統計の作成を行うために利用します。また、利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先に個人情報を提供する場合は、守秘義務を明記した契約の締結とともに、業務目的の達成に必要な範囲内において情報を提供するものとし、個人情報の安全管理が図られるよう、受託者に対する必要かつ適切な監督を行います。

お 問 合 せ 先	
出願書類・手続に関すること	<b>大学出願ネットサポートセンター</b> 電話番号 042-732-3951 受付時間 平日 9:00 ~ 17:00 (出願期間中のみ受付)
その他入試全般に関すること	<b>鶴見大学 入試センター</b> 受付時間 平日 9:00 ~ 16:00 土曜 9:00 ~ 12:00
<b>鶴見大学 入試センター</b> 〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見 2-1-3 電話番号 045-580-8219・8220	